

1 本校がめざす学校像

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導を充実させ、基本的生活習慣の確立とマナーの向上をめざす。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の充実・発展をめざす。また、各コースの特徴を強く打ち出すと共に専門性を高める。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

2 中期目標（到達目標として）

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブの硬式野球・サッカー・卓球・剣道・演劇・女子バスケットボール部の強化をめざす。また、他の運動部・文化部においても、活動の活性化を図る。それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 3 **NS コース**
高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。
- 4 **SA コース**
高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。学習・部活動ともに頑張る生徒を育てる。各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。
- 5 **i-Tech・IT 総合コース**
基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。
さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を受験させ、コースとして合格率 80%以上を確保する。
また、情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 6 **環境福祉コース**
高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。
- 7 **SG・特進選抜コース**
全学年において、確実な学力の担保を図り、大学進学実績の向上をめざす。SG コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。特進選抜コースの3年生は、クラス全員の希望進路を確定させることをめざす。具体的には国公立および関関同立・4女子大学合格者を複数出すことをめざす。
- 8 **スポーツ健康コース**
集団行動により、協調性の育成をめざす。また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。
特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。
- 9 **特進総合コース**
学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。
将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。高校生としての自覚をしっかりと持たせ、教養を高めさせる。主体的に判断し、行動できる力を育む。
- 10 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。生徒の美化意識を高める。保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を検討して行く。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。SNS 等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。
- 12 次年度、フリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の募集を開始する。設立準備委員会において、鋭意準備を進める。

上記の目標を達成するため、以下のことに取り組む。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。	教員の授業に対する意識を高め、工夫されたわかりやすい授業を実践する。 研究授業を充実させ、授業公開を増やす。 昨年度、本校教務内規成績評価における、注意点 30 点を 35 点に上げ、生徒の授業に対する意識を高める指導を行った。今年度も引き続き、成績に対する生徒の危機感を高め、しっかり学習するように指導して行く。 今年度から、教員の授業評価を実施する。 <u>学校自己評価「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。</u>		
2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブの硬式野球・サッカー・卓球・剣道・演劇・女子バスケットボール部の強化をめざす。 また、他の運動部・文化部においても、活動の活性化を図る。それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。	部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を行って来た。本校の優遇制度は充実している。充実してきた部活動の様子を広く発信し、広報活動を更に強化する。部活動体験会・オープンスクール等の行事の参加人数を増やし、部活動推薦生徒の入学増加を図る。吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部・演劇部等を中心に、地域社会に貢献して行く。 <u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>		

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
3 NS コース 高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。 落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てる。 各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。 いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養う。	入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。 欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 早朝学習（漢検ドリル）を実施する。 教員間の連携を密にする。コース教員だけではなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		
4 SA コース 高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。 学習・部活動のともに頑張る生徒を育てる。 各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。	入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。 欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 早朝学習（「モノグサ」アプリ）を実施する。 教員間の連携を密にする。 コース独自の科目や行事を通して、進路を見据えた指導を行う。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SA コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
5 i-Tech・IT 総合コース 基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。 さまざまな行事・活動を通して、協調性や社会性を身につけさせる。 進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざし、情報に関する全検定を受験させ、コースとして合格率 80%以上を確保する。 また、情報の専門性を更に高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。	i-Tech コース（1 年生）は入学直後に、オリエンテーションを 2 日実施する。 保護者との連携を密に行い、生徒一人一人が自己管理を適切に行えるように指導し、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。 コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。 希望進路の実現に向けて、積極的に教員がアプローチする。 生徒の情報をコースで共有し、組織的に対応できる体制を整える。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、i-Tech・IT 総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		
6 環境福祉コース 高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。 コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。 多様な個性の許容、他者を尊重する生徒を育てる。	1 年生は入学直後に、オリエンテーションを 2 日実施する。 保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を減らすように努める。 希望進路の実現に向けて、生徒の情報をコース内で共有し、組織的に対応できる体制を整える。生徒と個別に話す時間を出来るだけ増やす。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、環境福祉コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
7 SG・特進選抜コース 全学年において、確実な学力の担保を図り、大学進学実績の向上をめざす。 SGコースにおいては、多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。 特進選抜コースの3年生は、クラス全員の希望進路を確定させることをめざす。 具体的には国公立および関関同立・4女子大学合格者を複数出すことをめざす。	SGコース（1年生）は入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。 放課後・長期休業中の受験講座・指導を充実させる。 早朝学習・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。 生徒募集対策室・広報を中心に、募集・広報の体制を強化し、SGコース入学生の増加を図る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SG・特進選抜コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		
8 スポーツ健康コース 集団行動により、協調性の育成をめざす。 また、時間厳守を意識させ、落ち着いた高校生活を送らせることを目標とする。 さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、専門種目の技術を向上させると共に、自らの健康の保持増進に努める。 特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。	保護者との連絡を密に行い、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。 授業を集中して受ける習慣を身に付けさせる。 教員間の連携を密に行い、コースの生徒のさまざまな情報を共有する環境を構築する。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、スポーツ健康コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
9 特進総合コース 学習意欲旺盛なクラス作りに努め、希望進路の実現に向けて最大限の努力をさせる。将来の職業選択を見据えた、将来構想を明確にさせる。高校生としての自覚をしっかり持たせ、教養を高めさせる。主体的に判断し、行動できる力を育む。	自分の興味や関心を明確にし、将来の職業選択を見据え、何を学ぶか考えさる。 受験に対応する実践力を養成する。 進路に対する意識を高め、希望進路の実現を図る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、特進総合コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>		
10 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。 生徒の美化意識を高める。保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を検討して行く。	視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。 研修館の空調を整備する。 フリーアカデミーコースの立ち上げに伴い、授業のオンデマンド化などクラウドシステムを導入する。 講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。 <u>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」</u> <u>「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」</u> <u>「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>		

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。 SNS 等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。 ホームページの情報発信を、更に充実させる。 本校の斬新な広報を継続する。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を活発に行う。 <u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>		
12 次年度、フリーアカデミーコース（不登校生徒支援を目的とする）の募集を開始する。 設立準備委員会において、鋭意準備を進める。	全館 ICT 化、生徒一人一人（1・2年生）にタブレットを持たせることに伴い、主体的な新しい教育に挑戦していく。 アクティブラーニングを推進する。E ルーム（ICT 教室）の活用を進める。 フリーアカデミーコースの教育内容を確定し、生徒募集の戦略を練る。 <u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u>		